

## 当社グループにおける電力卸供給事業70万kW体制の確立について

各位

当社(社長:渡 文明)の精製部門のグループ会社である新日本石油精製株式会社(社長:小沢 稔)は、室蘭製油所(所長:小菅 章光)において、2004年10月1日より5万kWの電力卸供給事業の営業運転を開始し、既に運転を開始している4製油所と合わせて、当社グループの電力卸供給事業70万kW体制が確立いたしましたのでお知らせいたします。

当社グループは総合エネルギー企業への飛躍の一環として、製油所を活用した電力卸供給事業を積極的に推進しており、1998年7月の大阪製油所を皮切りに各製油所にて電力卸供給事業を進めて参りました。今般の室蘭製油所における営業運転開始により5製油所合計で総発電量約70万kWとなります。これは一般家庭の消費電力に換算すると、約170万世帯(神奈川県的一般世帯の半分)に相当)分の規模となります。

なお、明日10月5日(火)室蘭製油所におきまして、竣工式を執り行う予定です。

当社グループ電力卸供給事業(IPP:Independent Power Producer)の取組状況

製油所名	大阪	横浜	根岸	麻里布	室蘭
発電所在地	大阪府 高石市	神奈川県 横浜市	神奈川県 横浜市	山口県 玖珂(クガ)郡	北海道 室蘭市
供給電力量 (単位:万kW)	13.0	4.9	34.2	13.2	5.0
使用燃料	残渣油	分解軽油	残渣油	石油コークス 残渣油	残渣油
供給先	関西電力(株)	東京電力(株)	東京電力(株)	関西電力(株)	北海道電力(株)
供給開始時期	1998年7月	2000年6月	2003年6月	2004年4月	2004年10月
発電方式	BTG	GTG	IGCC注1)	BTG注2)	BTG

BTG : Boiler Turbine Generator(ボイラー+スチームタービン)

GTG : Gas Turbine Generator(ガスタービン)

IGCC :Integrated Gasification Combined Cycle

(ガス化設備+ガスタービン+廃熱ボイラー+スチームタービン)

注1 : 残渣油を燃料としたガス化複合発電としては日本で初の設備。

注2 : 石油コークスを燃料として用いている点、電力の振替供給を用いている点で日本初。



以上